



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 魚力

コード番号 7596 URL <http://www.uoriki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中田 雅明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 伊藤 忠彦

TEL 042-525-5600

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	22,641	4.9	1,000	7.2	1,142	△9.2	861	△8.4
27年3月期第3四半期	21,594	7.9	933	△8.0	1,258	△0.2	940	37.1

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 571百万円 (△54.2%) 27年3月期第3四半期 1,249百万円 (35.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	60.97	—
27年3月期第3四半期	66.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	18,221	14,226	77.3	1,007.57
27年3月期	17,975	14,796	81.8	1,035.80

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 14,093百万円 27年3月期 14,695百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	38.00	38.00
28年3月期	—	20.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,500	7.1	1,300	2.4	1,480	△9.8	1,050	△8.2	74.49

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	14,620,000 株	27年3月期	14,620,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	632,663 株	27年3月期	432,663 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	14,130,915 株	27年3月期3Q	14,187,337 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、円安基調の継続や急速な原油安、雇用・所得環境の改善により景気は緩やかな回復基調が続いているものの、国際情勢の不安や中国景気の急減速など、引き続き景気を下押しするリスクが懸念される状況であります。

また、雇用情勢が改善し個人消費は底堅く推移しているものの、物価上昇や更なる消費税率の引き上げなどから消費者の生活防衛意識は高まり、生鮮食品をはじめ食品全般の低価格志向や日常的支出への節約志向はいまだ根強いものがあります。

一方、水産業界におきましては、魚資源の枯渇化や海洋環境の変化に伴う漁獲高の減少、輸入魚を中心とした魚価高の影響など、当社を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような経営環境の中、当社グループにおきましては、今期の経営目標として「改革のスピードアップによる成長企業への転換」を掲げ、「東証一部上場企業としての社会的責任の追求」とともに「お客様満足度(CS)と従業員満足度(ES)の追求」に向けて、各事業分野における基本戦略に取り組んでまいりました。

この間、小売事業で6店舗を出店したことにより、当第3四半期連結会計期間末の営業店舗数は65店舗となりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は226億41百万円(前年同期比4.9%増)、営業利益は10億円(前年同期比7.2%増)、経常利益は11億42百万円(前年同期比9.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億61百万円(前年同期比8.4%減)となりました。

なお、第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①小売事業

小売事業では、既存店舗の売上高については、第2四半期累計までは対前年同期比1.5%の減少でしたが、10月、11月は、サンマをはじめとした旬の生魚が不漁であったことや暖冬の影響により対前年同期比3%前後の減少で推移いたしました。しかしながら、12月は当社が一番の書き入れ時である「クリスマスセール」や「歳末大感謝祭」の売上が好調で前年実績を上回り、対前年同月比0.1%の減少にまで回復いたしました。この結果、第3四半期累計では対前年同期比1.2%の減少となりました。

新店は、平成27年4月に京浜急行本線品川駅に隣接する商業施設「京急ショッピングプラザ・ウィング高輪EAST」内に「品川店」(東京都港区)、西武池袋線大泉学園駅に隣接する商業施設「グランエミオ大泉学園」内に「大泉学園店」(東京都練馬区)、8月にJR京葉線舞浜駅に隣接する商業施設「イクスピアリ」内に「Sushiカ蔵 舞浜店」(千葉県浦安市)、9月に東急田園都市線たまプラーザ駅に隣接する「東急百貨店」内に「たまプラーザ店」(神奈川県横浜市)、11月にJR浦和駅に隣接する商業施設「アトレ浦和」内に「浦和店」(埼玉県さいたま市)、12月に多摩モノレール立飛駅に隣接する商業施設「ららぽーと立川立飛」内に「立川立飛店」(東京都立川市)を開店いたしました。

また、既存店舗活性化のため、平成27年4月に立川ルミネ店(東京都立川市)、8月に川越店(埼玉県川越市)、11月に一宮店(愛知県一宮市)の改装を行いました。

この結果、売上高は177億14百万円(前年同期比3.8%増)、営業利益は8億54百万円(前年同期比1.9%増)となりました。

②飲食事業

飲食事業では、新規顧客獲得のための折込チラシ投入や、宴会予約獲得のための営業活動を強化し売上高を確保する一方、店舗のオペレーション体制の見直しや、要員配置の変更などにより人件費の削減を図るなど、徹底した経費削減に取り組みました。

この結果、売上高は5億64百万円(前年同期比4.4%増)、営業利益は49百万円(前年同期比160.7%増)となりました。

③卸売事業

卸売事業では、国内子会社の株式会社大田魚力は、食品スーパーを中心とした既存取引先への売上が前年割れとなったものの、業務の効率化による経費削減を進め、売上高は16億36百万円、営業利益は40百万円となりました。

米国子会社ウオリキ・フレッシュ・インクは、日本食ブームを背景に、食品スーパーへの寿司ネタや寿司関連食材を中心に販売を拡大しましたが、新規取引先獲得のための先行投資で経費が増加し、売上高は27億69百万円、営業利益は1億11百万円となりました。

この結果、グループ全体の卸売事業の売上高は43億13百万円(前年同期比9.5%増)、営業利益は1億72百万円(前年同期比3.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は82億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億31百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が10億44百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が16億12百万円増加したことによるものであります。固定資産は99億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億85百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が10億70百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は182億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億46百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は36億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億85百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が8億3百万円増加したことによるものであります。固定負債は3億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ30百万円増加いたしました。これは主に退職給付に係る負債が30百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、39億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億16百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は142億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億70百万円減少いたしました。これは主に自己株式の取得による3億37百万円、その他有価証券評価差額金が2億93百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は77.3%（前連結会計年度末は81.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年10月30日の「平成28年3月期第2四半期累計業績予想数値と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結会計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,784,816	3,740,128
受取手形及び売掛金	1,810,565	3,423,507
有価証券	40,000	40,000
商品及び製品	799,968	906,310
原材料及び貯蔵品	10,147	8,619
その他	211,829	170,289
貸倒引当金	△7,685	△7,693
流動資産合計	7,649,642	8,281,161
固定資産		
有形固定資産	2,188,307	2,407,950
無形固定資産	62,182	49,154
投資その他の資産		
投資有価証券	6,851,465	5,781,023
その他	1,223,450	1,702,030
投資その他の資産合計	8,074,916	7,483,053
固定資産合計	10,325,406	9,940,158
資産合計	17,975,048	18,221,319
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,145,319	1,948,802
未払法人税等	381,779	183,398
賞与引当金	134,524	68,972
その他	1,191,811	1,437,651
流動負債合計	2,853,435	3,638,825
固定負債		
退職給付に係る負債	257,863	288,586
その他	67,032	67,267
固定負債合計	324,896	355,854
負債合計	3,178,331	3,994,680
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,563,620	1,563,620
資本剰余金	1,441,946	1,441,946
利益剰余金	12,421,313	12,461,351
自己株式	△600,153	△938,011
株主資本合計	14,826,726	14,528,907
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	424,204	130,541
土地再評価差額金	△603,232	△603,232
為替換算調整勘定	55,373	55,160
退職給付に係る調整累計額	△7,860	△18,205
その他の包括利益累計額合計	△131,514	△435,735
新株予約権	-	17,557
非支配株主持分	101,505	115,910
純資産合計	14,796,717	14,226,639
負債純資産合計	17,975,048	18,221,319

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	21,594,376	22,641,708
売上原価	13,707,692	14,297,012
売上総利益	7,886,684	8,344,696
販売費及び一般管理費	6,953,495	7,344,248
営業利益	933,188	1,000,448
営業外収益		
受取利息	117,207	72,433
受取配当金	35,862	41,922
持分法による投資利益	3,631	1,534
不動産賃貸料	8,010	8,370
デリバティブ評価益	25,652	-
為替差益	120,316	26,342
その他	21,509	21,382
営業外収益合計	332,189	171,986
営業外費用		
自己株式取得費用	-	1,233
新株予約権発行費	-	2,293
不動産賃貸費用	7,193	6,409
デリバティブ評価損	-	20,220
営業外費用合計	7,193	30,156
経常利益	1,258,184	1,142,278
特別利益		
固定資産売却益	5,851	850
投資有価証券売却益	232,762	231,325
持分変動利益	2,272	-
特別利益合計	240,886	232,175
特別損失		
固定資産除却損	15,816	2,348
減損損失	23,943	-
和解金	-	15,203
特別損失合計	39,760	17,552
税金等調整前四半期純利益	1,459,310	1,356,901
法人税、住民税及び事業税	472,728	441,295
法人税等調整額	27,506	39,506
法人税等合計	500,235	480,801
四半期純利益	959,075	876,099
非支配株主に帰属する四半期純利益	18,861	14,475
親会社株主に帰属する四半期純利益	940,213	861,623

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	959,075	876,099
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	242,826	△293,662
為替換算調整勘定	45,852	△284
退職給付に係る調整額	1,637	△10,344
その他の包括利益合計	290,316	△304,292
四半期包括利益	1,249,391	571,807
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,218,484	557,402
非支配株主に係る四半期包括利益	30,907	14,404

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業	飲食事業	卸売事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	17,065,642	540,406	3,939,020	21,545,069	49,307	21,594,376	—	21,594,376
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	103,359	103,359	13,950	117,309	△117,309	—
計	17,065,642	540,406	4,042,379	21,648,428	63,257	21,711,686	△117,309	21,594,376
セグメント利益	839,007	19,155	178,494	1,036,656	22,558	1,059,214	△126,025	933,188

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、テナント事業であります。

2. セグメント利益の調整額△126,025千円には、セグメント間取引消去△16,406千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△109,619千円が含まれております。全社費用は、主に総務・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	小売事業	飲食事業	卸売事業			
減損損失	23,943	—	—	—	—	23,943

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業	飲食事業	卸売事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	17,714,651	564,240	4,313,805	22,592,698	49,010	22,641,708	—	22,641,708
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	92,548	92,548	13,950	106,498	△106,498	—
計	17,714,651	564,240	4,406,354	22,685,246	62,960	22,748,207	△106,498	22,641,708
セグメント利益	854,794	49,938	172,171	1,076,904	23,566	1,100,470	△100,021	1,000,448

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、テナント事業であります。
2. セグメント利益の調整額△100,021千円には、セグメント間取引消去△13,294千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△86,726千円が含まれております。全社費用は、主に総務・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。